

## 『がん・バッテン・元気隊と、ガイドブック「そばにいるね」が福岡市議会に登場 !!』

---

桜が咲き始めた頃…3月23日(火)福岡市議会条例予算特別委員会総会(質疑)にて、がん対策に関する質疑が出されるとの情報をキャッチし…傍聴して参りました。質問に立たれたのは、福岡ネットワーク所属の高森清子議員。お名前に違わず清々しい方。がん患者の立場や意見を踏まえた上での質疑は、福岡市議会では初とのこと。約30分に渡り、以下のような内容がやり取りされました。

＊高森清子議員の質問に、福岡市保健福祉局長・井崎氏が応答。

- ・がん対策に使われる予算費用の内訳、福岡市の過去の予算費推移など質問。  
⇒市では胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診について助成。  
22年度は大幅な増額予定。
- ・福岡市実施のがん検診の詳細、受診率向上・目標達成・普及・啓発のための取りくみについて、具体的にどうされているか?など。  
⇒国・県の指針に基づき検診など実施。受診率の把握は、職場検診などで独自に受診している場合もあり、市民全体の実際の受診率の把握は難しい。受診率50%に向け、広報誌・ポスター、地域や医師会との連携で啓発・普及活動をしている。
- ・患者や家族の不安が軽減され、国のがん対策基本法が円滑に推進されるためにも、福岡市独自の、患者の立場に立った「がん対策推進計画」「がん対策推進協議会」の早急な設置を…。  
⇒各拠点病院に「相談支援センター」が設置されている。今後、患者会や相談支援センター・保健福祉センター・ホームページに情報を紹介するなど努めます。

そして最後に、吉田宏市長より…

『県の計画に基づいて、早期発見・治療、予防の推進を考えていきます。市としても、情報提供など、環境整備を進めていきます。がんの種類により検診受診率が違うので、どうしたらよいか、もう少し研究していきたい』とお言葉がありました。

高森議員、短く限られた時間で、がんで苦しむ人々の思いを的確に伝えていただいたと感謝申し上げます。また吉田市長はじめ、議員・職員の皆様方、がんは誰にも発生し得る病だにご理解を深めていただき、ご自身も含められた予防・早期発見治療、患者やその家族のサポートにご尽力下さいますよう…切に願います。ずいぶん開いてきた桜花を打つ雨が、慈雨に思える春の一日でした。